



2005 年度定期大会について

島根大学職員組合 2005 年度定期大会が 7 月 1 日に開催されました。議長に山岸主門氏（生物資源科学部）、酒井哲弥氏（総合理工学部）を選出し、資格審査委員から 55 名の代議員に対して、出席代議員 44 名、委任状 9 名で大会が成立していることが報告された後、議事に入りました。

提案された第 1 号議案から第 6 号議案までの 6 議案が採択されました。その際、下記の訂正ならびに追加事項がありましたのでご報告します。また、第 1 号議案の中で質問のあった署名活動の結果についてご報告致します。



1. P3, 下から 16 行目「就業規則変更に伴い、」を「学生の授業時間変更に伴い、」に訂正する。
2. P4, 下から 15 行目「教育学部支部（附属学校を含む）、」の後に、「医学部支部」をいれる。
3. P4, 下から 14 行目「5 支部」を「6 支部」に訂正する。
4. P14, 上から 10 行目「2004 年度の組合員の純増は十数名にとどまり、」を「2004 年度の組合員の純増は 9 名にとどまり、」に訂正する。

なお p 4 の組合員の増減について、以下の数字を追加しました。「本年 1 年間における組合員数の増減は、31 名増、22 名減（死亡 0 名、転出 0 名、辞職 4 名、退職 14 名、脱退 4 名）で、7 月 1 日現在の組合員数は 275 名である。」

また、大会議案書には直接言及はしませんでした、「授業時刻変更問題」における反対署名活動を行ない、その結果 3 週間で 705 名の署名が集まりました。

第 5 号議案（2005 年度選挙管理委員の選出）については当日報告があり、以下のかたがたが選出されました。

教育学部支部：権藤誠剛氏、広兼志保氏

法文学部支部：川島孝氏、西田兼氏

総合理工支部：高橋和文氏、半田真氏

生物資源支部：栗野貴子氏、山岸主門氏

職員支部：影山陽一氏、坂口由紀子氏

最後に、全大教中央執行委員に、本組合から長山泰秀氏を推薦したことが報告され、組合全体で氏をバックアップしていく事が確認されました。

終了後は懇親会が開かれ交流を深めました。

代議員の皆さん、オブザーバー参加の皆さん、当日は大変暑い中ご出席いただきありがとうございました。

教職員共済からのお知らせ

住宅災害に対する給付について

この一年近くの間、福井県の集中豪雨に始まり、新潟中越地震・福岡南西地震と驚くほど多くの自然災害が発生しました。教職員共済では、被害にあわれたすべての組合員が給付申請を行ない、一日でも早くもとの生活ができるようにと、現地に赴いて対策本部を設置し、申請のためのお手伝いをするなどしてきました。

住宅災害にあった場合の給付の対象となる共済は二つあります。

- 総合共済 全壊・流失（66%以上）・・・100万円
半壊（20～66%未満）・・・40万円
一部壊（5～20%未満）・・・5万円～30万円以内
"（5%未満）・・・1万円
床上浸水（30cm未満）・・・6万円
"（30cm～50cm未満）・・・20万円
"（50cm以上）・・・40万円
災害見舞金（物置・車庫等）・・・3万円
特別見舞金（やむをえない事情で家財の移動中の災害）・・・50万円以内
- 火災共済 全壊・・・1口あたり4.5万円（最高450万円）
半壊・・・1口あたり2.5万円～1.5万円（最高250万円）
一部壊・・・1口あたり4,000円以内（最高40万円）
床上浸水・・・1口あたり1.5万円～1,000円（最高150万円）

建物・家財両方に加入し加入口数が100口以上の場合

建物・家財どちらかのみ50口以上加入の場合は（ ）内金額の半額

総合共済--月々800円でお役に立ちます

総合共済は住宅災害の他にも生活の様々な場面でお役に立ちます。補償は、火災・住宅災害・災害見舞い・休業・傷害・死亡・後遺障害・介護・個人賠償・退職の10種類。掛金は月々800円です。

火災共済

1. 掛金が安い--1口（10万円） 木造70円・耐火35円（年額）
2. 火災以外の給付--落雷・車両の飛び込み・上階からの漏水にも、風水雪害の損害も対象
3. 建物の新旧にかかわらず給付します。
4. 地震・噴火見舞金が付加されています。
5. 公庫保険の補完的役割ができます。

教職員共済は教職員のための共済生協です。今回ご紹介した以外にも様々な共済が揃っています。ご利用ください。

詳しくは組合までお問い合わせください。内線 2198